

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	56	入居者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握がまだ足りない。	入居者に一日5分、10分とじっくり寄り添い、コミュニケーション能力向上を図る。	一人ひとりの思いに耳を傾ける。 訴えの乏しい方に対し、表情や行動発語の観察を行い、そこから希望を見出す。 今までの人生史の把握に努め、日々のケアにつなげる。	6ヶ月
2	60	入居者の行きたい戸外の外出が少ない。	希望の外出が度々できる。	買物、散歩は定期的に行う。 普段行けないような場所への希望把握 外出ボランティア等の協力を得る。 行事等での外出を計画していく。 併設職員の協力を得る。	6ヶ月
3	63	度々ホームに来れない家族との関わりが薄く、ホームに求めている希望の把握ができない。	家族との意見交換を深め、サービスの質の向上を図る。	毎月家族への連絡表の発送をする。 定期的な電話をかける。 家族会への参加を促し、希望等の聞き取りをする。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。